

平成30年度

事務事業評価表 A (平成29年度の実績評価)

記入年月日
平成 29 年 8 月 1 日

Table with columns for 事務事業名, 事業区分, 担当, 政策体系, 予算科目, 法令根拠. Includes details for the 74th National Sports Meeting preparation project.

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

Table with 2 columns: ①事務事業の概要 (事務事業の全体像) and ②担当が行う業務の内容・やり方・手順. Includes details about the 2019 National Sports Meeting.

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

Table with columns for ①手段, ②対象, ③意図 and various indicators (4活動指標, ⑤対象指標, ⑥成果指標) with data for 28, 29, 30, 31, and 32 fiscal years.

(3) 投入量 (事業費) の推移

Table showing input amounts (事業費) and personnel costs (投入量) for 28, 29, and 30 fiscal years, including a breakdown by source and personnel type.

Table showing internal costs (事業費の内訳) for 29 and 30 fiscal years, including items like travel, commissions, and wages.

(4) 当該年度の実施内容

Table for implementation content (実施内容) for 30, 31, and 32 fiscal years, with a note to enter content for each year and a list of main activities.

事務事業名	第74回国民体育大会に向けた開催準備事業	事務事業No.	20404000967	所属課	企画課
-------	----------------------	---------	-------------	-----	-----

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
平成23年3月の定例県議会において知事が国体誘致を表明し、「平成31年第74回国民体育大会」の誘致を決議された。平成24年11月に桜川市長・桜川体育協会長が茨城県知事に「ライフル射撃競技の桜川市開催の要望書」を提出し、平成25年2月にライフル射撃(CP以外)競技の会場地として選定を受ける。	
(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
<ul style="list-style-type: none"> ・国体開催に向けた開催実行組織の体制整備 ・ヒームライフル射撃体験教室の開催 	
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容	
現状維持	茨城県国体・障害者スポーツ大会局と協議し、会場施設の備品及び高額な競技用具の購入にあたっては、費用対効果を十分考慮し、今後の有効活用に向け、十分検討する。また、財源確保について、引き続き茨城県国体・障害者スポーツ大会局と協議を進める。

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評 価 項 目

目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?)	スポーツ基本法第26条に基づく国体開催に向けた事業の会場地選手強化支援事業については、生涯スポーツの振興において、地域スポーツクラブの支援を通じ、競技力向上を図るとともに、地域全体で競技種目を盛り上げていくことで結びついている。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称)	前回開催された国体において、ライフル射撃競技が旧真壁町にある県営ライフル射撃場で開催されたのを契機に、地域にライフル射撃がシンボルスポーツとして根付き、これまでライフル射撃の振興を支援し、これまで多くの優れた選手を輩出してきた。
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?)	国体開催に向けて広報活動を実施すれば会場地としての気運が高まり、事業を通じて競技力向上が図れる。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?)	平成28年7月に日本体育協会理事会で茨城国体の開催が決定されており、桜川市がライフル射撃(CP以外)競技の会場地として既に決定を受けている。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか?(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名	国民体育大会はスポーツ基本法第26条に基づく事業のため、類似事業や統廃合の可能性はない。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?)	国体が開催された先権自治体の実施例を参考に住民の協力を進めていく。
	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?)	リハーサル大会は、競技者より費用負担がある。
公平性		

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																								
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇨	国体改革2003に基づき、大会運営の簡素化・効率化により、平成20年第63回大会から大会規模の適正化により参加総数の15%程度の削減。競技会開始式の廃止(平成16年第59回大会から)を行っている。																								
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																								
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
		コスト																								
		削減	維持	増加																						
成果	向上																									
	維持		○																							
	低下																									
		(6) 事務事業優先度評価結果																								
		成果優先度評価結果																								
		コスト削減優先度評価結果																								

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input type="checkbox"/> A: 継続(現状維持) <input type="checkbox"/> C: 終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B: 継続(改革改善を行う) <input type="checkbox"/> D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>